

ゆうこ・もりもり・元気・通信

NO. 5 6/21「市民連合@新潟」 共同代表 佐々木寛 (広報・酔山 090-4923-0050)

公示(22日)直前

森ゆうこ候補・直撃インタビュー

Q. 全県を回っての県民の感想は？
勇気もらったエピソードがあれば。

予想以上の大勢の人が集まった演説会があれば、浸透や広がりがあるからというところもありますが、温かい反応は皆様のおかげ、不十分な地域は自分の力不足だと戒めながらがんばっています。

各地の事務所で若い「ママの会」のお母さんたちが手伝ってくれて、お子さん連れでもボランティア作業ができるように、ママさんたちの持ち寄りでお昼寝布団をベビーラック、おもちゃや絵本や塗り絵も並ぶ「キッズスペース」がある事務所もあったりして、これまでにない雰囲気や手応えを感じています。

私にも2人の孫がいて、ママさん、パパさんや子どもたちと接して、「誰の子どもも殺さない」「殺させない」の想いを強く感じています。



Q. 公示まで後1日、決意を一言どうぞ。

この選挙は、日本の歴史上極めて重要です。私も政治家としてのこれまでの経験と活動の総決算・集大成として、持てる力を振り絞ってがんばります。立憲主義、民主主義、未来の世代に負担や不安を押し付けず、全ての人たちが心豊かに暮らせる社会を実現するため、ともにがんばりましょう！

Q. 安倍首相は「アベノミクスは成功している」と言っているが、有権者の関心が高い「景気・生活・社会保障」で森さんが訴えたいことは？

暮らしや労働の安定、社会保障の充実がなければ、人々の幸せも、国の発展もないということが、皮肉にも「アベノミクス」の失敗で明らかになったのではないのでしょうか。安倍政権は持続不可能な「アベノミクス」のエンジンをふかし続けて「格差と貧困」を拡大しただけで、結局、経済は回復せず、公約の消費税増税は先送りとなりました。

内部留保を拡大するだけの大企業への法人税や「アベノミクス」で資産を倍増させた大金持ちへの課税を強化し、雇用の拡大や地域経済の活性化を誘導するような税制・経済政策を充実させることによって財源を確保して、年金・介護・医療等の社会保障を充実して暮らしの安心・安定に繋げる必要があります。

喫緊の課題である介護や保育現場の人材不足については、そこで働く人たちの給与を大幅に引き上げて、若い人に人気ある職業にすることが必要です。

児童扶養手当・就学支援金の増額、高校授業料の完全無償化、給付型奨学金の実現の早期の実現に全力を上げます。



Q. 「市民連合@新潟」の皆さんへの激励と要望をどうぞ。

みなさんの努力と熱意が、県内でも各政党間の連携や協議を後押しし、野党統一を実現しました。全国各地でもそうであるように、皆様一人一人が、戦後政治史上、初めての大きな新しい歴史、新しい民主主義を創り出した主人公です。その意味では、私は今までの森ゆうこではなく、各政党、連合新潟、市民連合をはじめ、多くの市民の皆様の声と願い、そして歴史的な使命を背負った新しい森ゆうことして、その責任を自覚し、皆様と一緒にがんばります。

皆様一人一人こそが、社会を変えていく力と勇気を持っているということをお互いに確認し、これからも共にご奮闘いただけるよう心からお願いいたします。



中央でも新潟でも「市民連合」と野党共闘の政策協定書の調印式



新潟市秋葉区総決起集会



村上・岩船総決起集会



新潟市西内野集会



決意を聞く本願寺新潟別院の会 (与板)

各地で
盛大な
集会

共同代表の決意④

新潟大学名誉教授 成島 隆

参院選の争点として、安倍政権は「経済」を前面に出していますが、真の狙いが改憲の発議に必要な3分の2の議席をかすめ取ることにあるのは明白。改憲によって実現される日本社会は、自民党改憲草案が示す暗黒社会です。憲法は権力ではなく国民を縛る規範となり、「軍」の論理が国民生活の全般を圧迫します。言論は萎縮し、権力批判の言論は「偏向」として排撃されます。まさに「壊憲」。立憲主義の危機を救えるのは市民の力のみです。

弁護士 水内 元基

「自分の1票では政治は変えられない。」そんなことはありません。奇跡のような野党共闘も、私たち市民の後押しがなければ実現しませんでした。

参院選の真の争点は、今の路線の継続を許すのか。ブレーキをかけて安倍法を廃止し格差と貧困を無くすのか。自民党が意図するような憲法改正を許すのか。こうした点だと思います。

政治に一步、近づいてみましょう。選挙に行って、一緒に政治を変えましょう！

公示日第一声

○日時 22日(水)
8時45分
○場所 新潟駅前
(万代口)

○応援弁士
市民連合・連合新潟の代表、民進党・社民党・共産党の国会議員・県会議員

共同大街頭宣伝

○日時 23日(木)
5時20分

○場所 新潟駅南口
○政党弁士 民進党・柿沢選対委員長代理、社民党・又市幹事長、共産党・小池書記局長、生活の党・小沢共同代表

4 野党が市民連合の「政策要望書」に調印(東京・7日)

政策要望書

- ① 安保法制の廃止と立憲主義の回復、改憲阻止
- ② 個人の尊厳を尊重し攻勢で持続可能な社会・経済をつくる機会を保障

- ▽ 同一価値労働同一賃金
- ▽ 給付制奨学金
- ▽ 女性に対する雇用差別の撤廃
- ▽ 累進所得税をはじめ公正な課税の実現 etc

市民連合の山口二郎氏(法政大学教授)が来新、「市民連合@新潟」と協定書調印(17日)

山口さんの挨拶「安倍首相は盛んに野党共闘は野合だと批判しているが、アベ暴走を許さないと政策理念で一致して共闘している。野党統一となった全国32の1人区を訪問して協定書の調印を急いでいる。あらゆる手段で新潟の森さんの勝利で自公の改憲の3分の2議席確保を阻止しよう！」